

博報堂生活総合研究所 「消費ショートレポート」

5月の消費意欲指数は **49.6** 点欲しいモノ・サービスのある人は **31.6** %

【全体概要】 5月の生活者の消費に関する意識は、全体的に消極的なようです。欲しいモノ・サービスのある人は全体の3割程度で、生活者の声をまとめてみると、「欲しいモノがない」という声や、「年度変わりの4月にお金を使ったので5月は抑える」「景気が不透明なので」など、消費を控える声が多くあがりました。一方、GWなど季節的な要因がプラスに働いた面も見受けられます。具体的に欲しいモノ・サービスがある人1人あたりの回答個数が2.37個と、複数の消費をイメージしているようです。

消費意欲指数:「消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点ぐらいですか。」(点数とその理由)

欲しいモノ・サービス:「あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。」(SA/あると回答した方には具体的なモノ・サービスを自由回答で聴取)

1. 消費意欲指数について

■消費に対して積極的な理由

「GWなので」、「暖かくなり、よい季節になったので」がともに多くなっています。

具体的には「旅行など出かける機会が増える」、「春夏の洋服を買いたい」などお金を使いたい気持ちが高まっています。

<生活者の声・男性>

- ・暖かくなり、連休もあって出かける機会が多くなる(80点・20代・大阪府)
- ・季節が変わり、初夏から夏の洋服を買いたくなる(80点・40代・東京都)
- ・GWは何かと出費が多くなる(70点・60代・三重県)

<生活者の声・女性>

- ・GWに旅行に行くので、自分へのご褒美としてたくさんお金を使おうと思う(90点・20代・千葉県)
- ・節約はしたいけど、GWで消費意欲が高まりそう(90点・30代・愛知県)
- ・暖かくなって春ものの洋服が欲しくなる(80点・40代・神奈川県)

■消費に対して消極的な理由

「欲しいモノがない」という声が多くみられましたが、「新年度の4月にお金を使ったので5月は控えめに」、

「景気に対する不安があるので」、「節約・貯金したい」などの意見も多くなっています。

<生活者の声・男性>

- ・子供が入学し何かと出費がかさむため(20点・男性30代・神奈川県)
- ・景気が悪いのでモノを買う気にならない(20点・男性40代・愛知県)
- ・来月退職するのでお金は極力節約したい(30点・男性60代・兵庫県)

<生活者の声・女性>

- ・4月の学費など出費が多いため、来月はおとなしくしたい(30点・30代・東京都)
- ・消費より貯蓄にシフトしないと将来が危うい(20点・40代・大阪府)
- ・なるべく無駄なお金を使わないよう意識するようになった(40点・60代・岐阜県)

《お知らせ》消費意欲指数が変わります。

2011年5月から、3ヶ月に一度ご報告していた「消費意欲指数」が今月からリニューアルします。

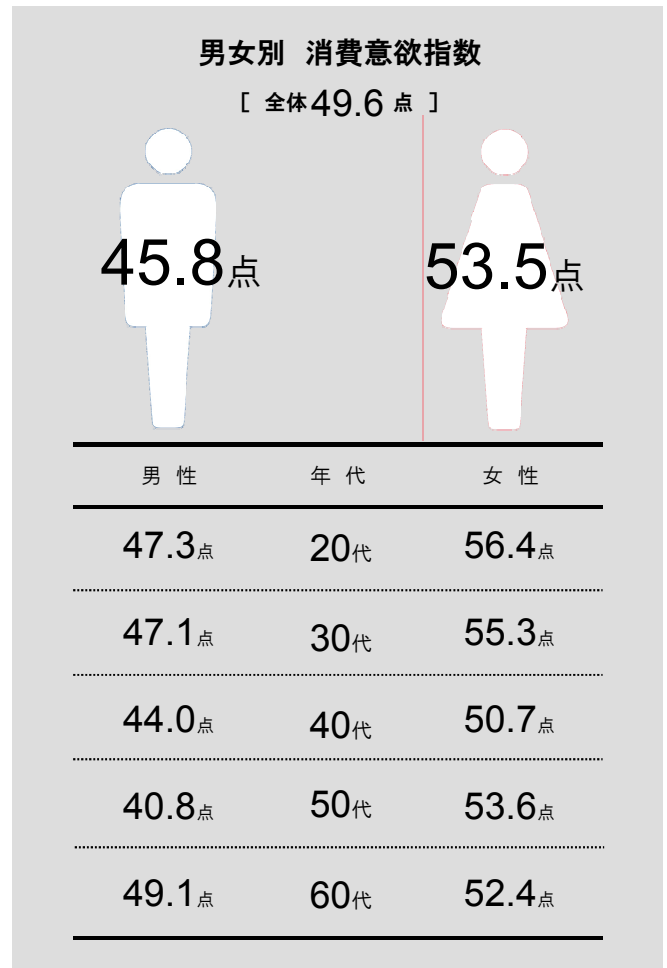
調査が3ヶ月に一度から毎月に、調査エリアは全国から首都圏、名古屋圏、阪神圏になります。詳細は4ページの調査概要をご確認ください。

■ 性年代分析

男女別の消費意欲指数をみると、男性が45.8点、女性が53.5点でした。男女差は7.7点と大きく、5月の消費意欲指数は女性が牽引しているようです。中でも、男性40代、50代の消費意欲の低さと、20代、30代の若い女性層の消費意欲の高さが目立ちます。

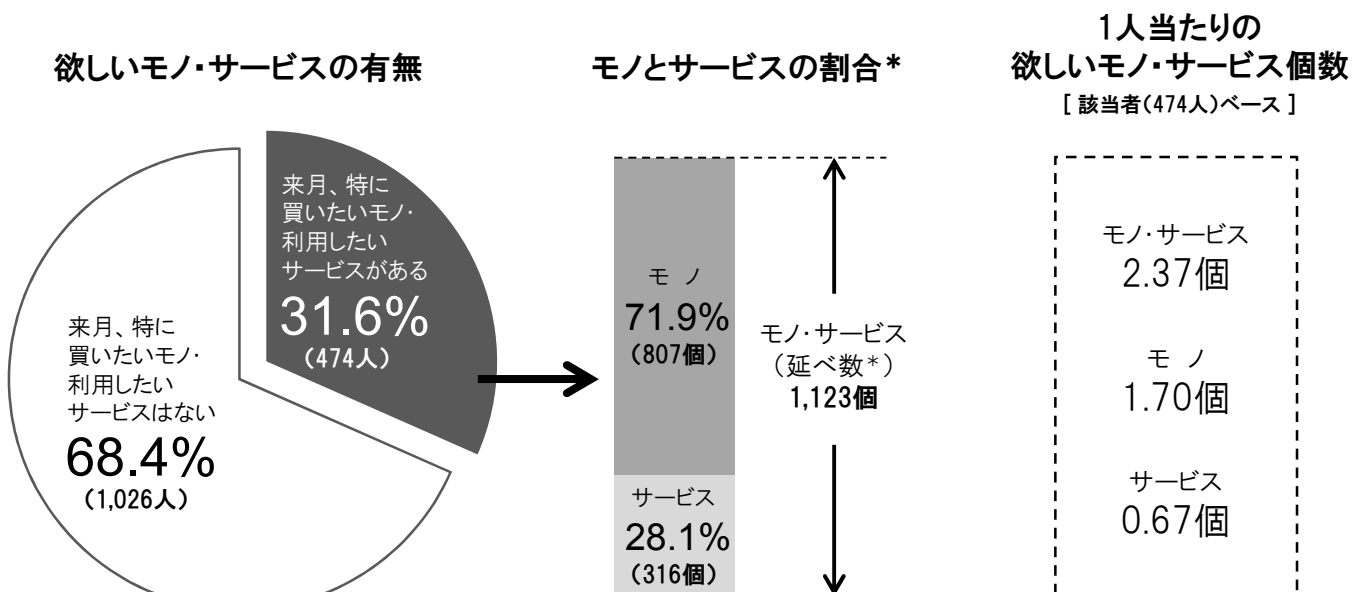
男性をみてみると、年代別で最も高かったのは60代で49.1点でした。最低は50代の40.8点、40代も44.0点と低くなっています。消費意欲が高い理由では、「GWだから」が、子育て世代でもある30代、40代で多くあげられています。また低い理由としては、「景気に対する不安感」が40代、50代で、また、「4月に使ったので5月は控える」という人が30代で多くなっています。

女性をみてみると、20代が56.4点でトップ、30代が55.3点と続きます。最も低いのは40代の50.7点でした。消費意欲が高い理由では、「GWだから」が女性20代、30代で特に多くなっています。また、「よい季節になったので」は女性の全年代で同じような比率であげられています。低い理由としては、30代、40代で「4月に子供の進・入学で使ったので5月は控えめに」という人が目立ちます。また、「節約や貯金をしたい」も20代から40代であげられています。



2. 欲しいモノ・サービスについて

- Q. 「あなたは来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。」(SA)
 「あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。」
 (買いたいモノ・利用したいサービスがあると回答した人のみ/思いつくものを全て自由回答で記述)



*モノとサービスの割合: 自由回答をモノとサービスに分類して、カウント。
 *延べ数: 自由回答で、1人が複数個回答している場合も全てカウントしています。

■「モノ」について

最も多くあげられたジャンルは、季節的な要因もあり、「服」「靴」「バッグ」といったファッション関連のモノでした。特に、女性で多くあげられています。また、新しい機能が付加された「パソコン」や「家電」「携帯電話」「カメラ」といったモノも、こちらは男性中心に欲しい人が多くなっています。

■「サービス」について

5月はGWということもあって、男女ともに「旅行」が最も多くあげられました。女性では「エステ」「美容室」など美容関連のサービスもあげられています。また、「母の日」という5月ならではのイベントをあげる人も女性が目立ちました。

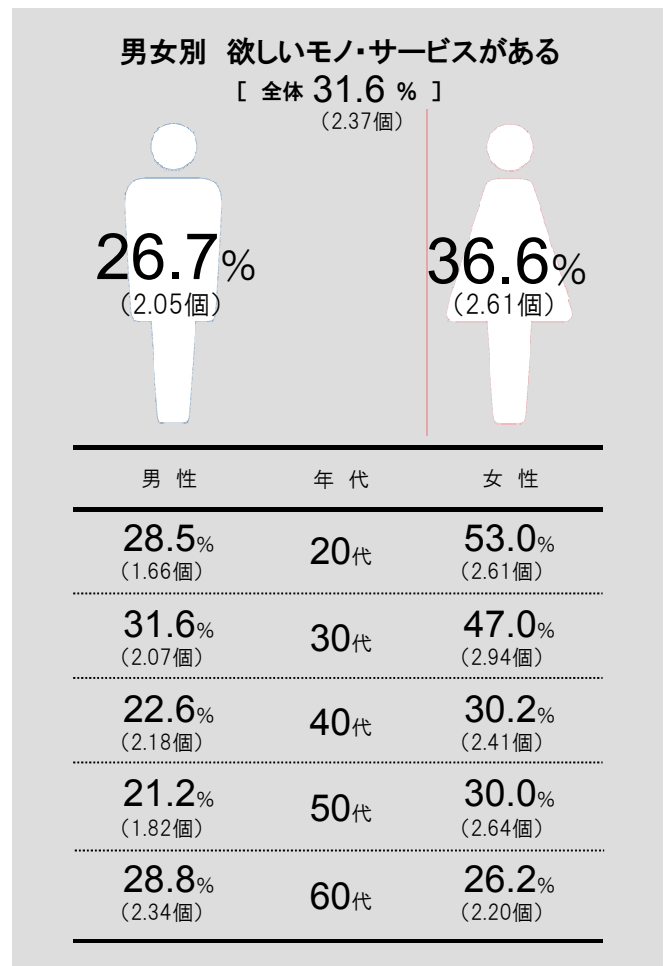
■ 性年代分析

「欲しいモノ・サービス」があると答えた人は、男性が26.7%、女性が36.6%と女性が10ポイントほど高くなっています。また、「欲しいモノ・サービス」の一人当たり個数も男性2.05個に対し女性2.61個と女性が多くなっています。女性の消費意欲の高さを裏付けているといえそうです。

性年代別の特徴をあげると、女性20代と30代の「モノ・サービス」への欲求の高さが目立ちます。季節の変わり目ということもあり、「服」や「靴」「バッグ」「化粧品」などファッション関連のモノが、他の年代と比べ特に多くあげられています。さらに女性で目立ったのは、「欲しいサービス」に「母の日」をあげる女性20代、30代で、これは5月ならではのことで、といえそうです。

男性では、60代男性の「モノ・サービス」への欲求が高くなっています。「欲しいモノ・サービス」の一人当たり個数は2.34個と男性年代別でトップです。「家電製品」や「パソコン」「カメラ」などメカ関連のモノや「旅行」も男性の中で最も多くあげられています。男性年代別で、60代が最も高い消費意欲指数であるのうなずけます。

「欲しいサービス」として今回最も多くあげられたのは男女ともに「旅行」です。GWや気候のよさも背景にあるようです。家族サービスをしたい男性30代、40代、自分へのご褒美としての女性20代、30代、ゆったりと楽しみたい男女60代で多くあげられました。



* ()内の数:1人当たりの欲しいモノ・サービスの個数

調査概要

質問項目 消費意欲指数

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点ぐらいですか？
(点数とその理由)

欲しいモノ・サービスの有無

あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(SA)
あなたが来月(5月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(OA
思いつくものをいくつでも記入)

調査地域 首都40km圏、名古屋40km圏、阪神30km圏

調査手法 インターネット調査

調査対象 20歳から69歳までの男女1,500サンプル(有効回収数)
人口構成比を反映するよう、エリア別に性年齢10歳刻みで割付

合計	男性	20代	30代	40代	50代	60代	女性	20代	30代	40代	50代	60代
1500	757	123	171	168	132	163	743	117	166	162	130	168

合計	首都 40km圏	名古屋 40km圏	阪神 30km圏
1500	500	500	500

調査時期 2012年4月9日(月)～11(水)

企画・分析 博報堂生活総合研究所

実施・集計 株式会社 東京サーベイ・リサーチ